

Remro-F Q&A

Q. エフロが取れない

A. エフロはカルシウム分ですので、必ず Remro-F で反応します。一見エフロに見えますが、コンクリ強化剤がエフロと一緒に流れ出てくる事があり、この強化剤は除去することが出来ません。

尚、エフロ除去は堆積分をケレンで削った上で、Remro-F を刷毛塗りしてブラッシングをして下さい。除去できない頑固なエフロは繰り返し作業をして下さい。また、最後の一皮が中々とりづらい、しかし時間が無いと言うときは、保護剤の「Remro-石ピカ」を刷毛塗りして下さい。

Q. ガラスの鱗状斑点は Remro-F で取れるのですか

A. 2~3倍に希釈した Remro-F を刷毛塗りし、1~2分後にスコッチブライトで円を描くようにブラッシングして下さい。次に濡れたウエスで拭き取ってください（水の流せる場所なら水を流してください）。

※ スコッチでブラッシングした際に、手に当たる感触があれば堆積の大きい事を示していますので、繰り返し作業が必要になります。

※ なるべく少ない面積をこの作業の繰り返しで施工を進めて下さい。大きな面で一度に施工した場合、水の洗い流しが遅れると、ガラスを傷める事があります。

Q. ガラスの曇りは取れますか

A. Remro-F では取れません。保護剤の「Remro-石ピカ」をスコッチブロイトで円をかくように均一に塗り、乾いたウエスで拭き取って下さい。

Q. ラスター タイルを洗った際、汚れは落ちましたが艶も飛んでしまいました。

A. パールやクリアー仕上げのタイル及びラスター タイルの汚れには、まず、Remro-O で取れないかをテストして下さい。取れない場合に初めて、Remro-F を希釈度と汚れの落ち具合を確かめた上で施工して下さい。上述のように直ぐに水で流し軀体の上の洗剤の残留をなくせば問題ないですが、必ずテストの上、施工して下さい。

保護剤「Remro-石ピカ」を刷毛で均一に塗って下さい。但し、水の洗い流し不足で且つ時間経過したものは、薬品やけを起こし、直す事は出来ません。

Q. ステンレスやアルミサッシのサビを Remro-F で洗ったら、変色した。

A. Remro-F は酸性洗剤です。酸性の持つ基本的特性は「ガラス・石・金属等の軀体を傷める」性質を持っています。

Remro-F は、この本来の酸性が持つ特性に金属封鎖剤を入れ麻醉をかけてあります。ですから、サビが除去出来たら直ぐに大量の水で洗い流す事で、軀体の上の洗剤の残留を取り除けば、軀体を傷める事はありません。

この状態は水洗い不足か、Remro-F で洗浄した後に長時間放置したかの何れかです。

金属類の変色は直す事は出来ません。

Q. サビ染みが取れない

A. Remro-F は「サビ染みを取る」洗剤で、サビ自体は取れません。また、コンクリートの深くに染み込んだサビ染みは、一度取ってもまた浮いてきます。繰り返し作業をして下さい。

※ 鉄自体のサビを取る薬品ではありませんので、注意して下さい。

Q. タイルを Remro-F で洗ったらその時点ではきれいに落ちたのですが、後で白くなった。

A. Remro-F は酸性洗剤です。酸性の持つ基本的特性は「ガラス・石・金属等の躯体を傷める」性質を持っています。

Remro-F は、この本来の酸性が持つ特性に金属封鎖剤を入れ麻醉をかけてあります。ですから、汚れが落ちたら直ぐに大量の水で洗い流す事で、躯体の上の洗剤の残留を取り除けば、躯体を傷める事はありません。

この状態は水洗い不足か、Remro-F で洗浄した後に長時間放置したかの何れかです。

保護剤「Remro-石ピカ」を刷毛で少量一度塗りし、乾拭きをして下さい。

Q. 外壁タイルを洗って綺麗になったが、マスカー養生をしなかったために窓ガラスや1階部分の大理石に垂れシミができた。

A. 上記同様に、マスカー養生していない部分に水の流し不足（躯体の上の洗剤の残留）が生じ、起こったものです。

保護剤「Remro-石ピカ」を刷毛で少量塗って下さい。その塗る際にはスポンジで縦横に均一に延ばすように塗った後に乾いたウエスで拭き取って下さい。

※ Remro-石ピカの施工日は天気の良い日に限ります。また、施工時間中は晴れていても、乾かない前に雨に当るとやはりシミになります。